

7月・8月の子ども食堂

まち

「ごはんと居場所連絡会」に入っている市内の子ども食堂が7月・8月に次の通り開催する。

掲載内容は次の通り。食堂名称①開催日②時間③会場④予約・対象・内容⑤特記事項⑥Eメールアドレス・電話

※利用料はいずれの食堂も原則としておとな300円、子ども無料。

子ども食堂 ひかりっこ①7月4日 困・8月1日 困②午後3時③多摩川キリスト教会(岩戸南4-2-5)④先着制180食(ただし子どもだけの会場、家庭の事情により予約受付中)⑤アレルギー対応不可⑥hikarikko.dining@gmail.com

みんなの居場所①7月13日 困・8月10日 困②午前11時30分～午後2時③西河原公民館④要予約⑤夏期(7～9月)は会食のみ⑥minna.ibasho.k@gmail.com

月末食堂①7月18日 困・8月29日 困②午後5時～7時③スペース102(東和泉1-32-3-102)④シングル子育て世帯・産後ケア世帯

対象⑥☎090-1803-8319(市原)ヘショートメールで要予約

◇月末夏の駄菓子屋①8月6日 困～9日 困②午前11時30分～午後2時③スペース102④焼きそばなどを作って食べる。参加費100円、駄菓子券120円(幼児は親子で参加)⑤要事前登録⑥7月18日 困の月末食堂と夏の駄菓子屋の利用者に政府給食用備蓄米(子ども1人1.1kg)とご飯に合う食材を配布⑥☎090-1803-8319

ごはん+居場所おかえり①7月27日 困・8月24日 困②12時30分③中央公民館④要予約⑥okaeri2017@gmail.com
野川のえんがわ こまち①毎週水曜日②正午③野川のえんがわこまち(西野川12-31-1)④夏休み期間は要予約⑥nogawa@comarch.tokyo

また、8月13日 困～16日 困に中央公民館が催す夏休み子ども居場所事業で昼食を提供する予定。

外国人にも「やさしい」日本語実践講座を開催

「今日からすぐに使える!やさしい日本語実践講座」が6月9日 困に防災センターで催され、外国人を含む31人が参加した。

「やさしい日本語」は「易しい」「優しい」の意味で、平成7年の阪神淡路大震災をきっかけに提唱され、外国人にも分かりやすく簡単なのが特徴。

市内で日本語支援活動を行っている「NPO法人こまえにほんごしえん・日本語スクール」(檜垣寿子代表)が催した講座は、「kokohana やさしい日本語でつながる八王子の会」の宮武茜代表らを講師に、「はっきり言う」「さいごまで言う」「みじかく言う」をポイントに、具体的な文章や事柄を言い換え、参加した外国人に理解してもらえたかを確認しながら「やさしい日本語」を実践的に学んだ。

同法人は、令和3年に結成された市民団体「にほんごしえん」を母体にスタートし、今年2月からは特定非営利活動法人として活動している。

子どもや保護者をサポートする「放課後支援」、月3回土曜日午後2時30分から中央公民館で行っている交流勉強会「にほんごサロン」などを開いており、団体の活動は令和6年度市民提案型市民協働事業になっている。参加無料。

問い合わせ☎3430-1164市政政策室、メールn.nihon5shien@gmail.com檜垣さん。



外国人と一緒にやさしい日本語を学ぶ

Start & Challenge 市民公益活動事業補助金を12団体に交付

令和6年度狛江市市民公益活動事業補助金プレゼンテーション及び選考会が5月26日 困に防災センターで催され、選考の結果、応募した12団体すべてに補助金の交付が決まった。

交付されるのはチャレンジ補助金が狛江でワラシック企画委員会、狛江おもちゃ病院、Rhythm×Life(リズムポルライフ)、まなびや、いろは女子会、こまえ・こどもの権利を考える会、ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会、狛江市・市民ひろばラジオ体操会の8団体。スタート補助金がほかほかマルシェ実行委員会、「ハルのキに。」、つなぐ、家族のためのニチニチこそだてサロンの4団体。

夏休み子ども対象にラジオ体操祭

「狛江市・市民ひろばラジオ体操会」(吉田栄代表)が、夏休み中に子どもを対象にした夏休みラジオ体操祭を開催する。

同会は約80人の会員が参加し、平成11年から年間を通して毎朝、市役所前市民ひろばに集まりラジオ体操を続けている。

同会では、子どもたちに健康維持と「早寝、早起き、朝ごはん」を実践してほしいと、毎年夏休みに

ラジオ体操祭を開いていたが、令和2年にコロナ禍で活動を中断した。昨年、3年振りに開いたところ、参加者が延べ約500人と中断前の3分の1に減ってしまった。このため、今年度は市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を活用して、ポスター作成や音響機器の更新を行い、小学生を中心に幅広く呼びかけることにした。

ラジオ体操祭は7月20日 困～8月31日 困の毎日午前6時20分～40分に開催。小学生以下の子どもの参加者カードの配布と押印を行い、8月30日 困にカードを回収、最終日にスタンプの数に応じて皆勤賞や努力賞、参加賞をプレゼントする。スタンプの押印は6時30分から始まるラジオ体操第一の終了まで。最寄りの狛江第一小学校の全校児童には事前に参加者カードを配布するが、他の小学校や中学生以上の参加も自由。

吉田さんらは「たくさん子どもたちに参加してもらい、以前のように活気のあるラジオ体操祭にしたい」と参加を呼びかけている。

問い合わせ☎3480-3220吉田さん。



市民ひろばラジオ体操会



こまえくぼ1234からのお便利

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■切手ボラ(旧切手カフェ)

22日 困午後1時30分～3時あいとびあセンター3階ボランティア室。集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

■おりがみボラ

3日 困・8月7日 困午後2時～3時30分こまえ正吉苑二番館いちようホール。



折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かせる。

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■まち♡ボラ2024夏

22日 困～9月8日 困。狛江市内でできるボランティア・市民活動に参加し、地域のことを知る。対象：小学生以上(活動によって異なる)申込：7月8日 困～8月9日 困に本人がこまえくぼ1234窓口で申し込み。参加費：無料※活動により有料のものあり。参加には別途、ボランティア保険料金(350円～)が必要。



災害ボランティアって?

～被災地で行う様々な活動～

被災した地域や住民が、一日でも早く元の生活に戻ることができるよう手伝うことを目的に、力仕事から事務作業、心のケアまで様々な災害ボランティア活動があります。未経験者や体力に自信がない人でもできる活動があります。

①がれきの撤去②泥だし③室内清掃④イベントやサロン活動の支援⑤物資・衣類の仕分け⑥炊き出し⑦災害ボランティアセンター運営の手伝い等



世田谷区立郷土博物館の見学会

スポーツ

狛江郷土資料館(仮称)設立をめざす会(石谷清隆代表)が7日 困午後1時45分～4時10分(1時30分現地集合)に世田谷区立郷土博物館(世田谷区世田谷1-29-18)の見学会を開催する。

同会は、狛江市は多摩26市で唯一、郷土資料館がなく、市民が埋蔵文化財や歴史資料に接する機会が限られているとして、市内などの歴史研究者らが発起人となり令和4年に発足、市民約80人で構成している。これまでに稲城市郷土資料室、むいから民家園、



稲城市郷土資料室の見学会

武蔵野ふるさと歴史館の見学会や学習会を開いた。

世田谷区立郷土博物館は都内初の公立博物館として昭和39年に開館、区内で出土した埋蔵文化財や文書など多数の資料を展示するほか、ビデオブースもある。同会では、運営方法などが優れている同館の見学会によって、狛江市民の郷土資料館建設への関心を高め、建設する際の参考にしたいと参加を呼びかけている。参加は事前に同会へ申し込みが必要。

申し込みはEメールn.komae.kyodo@gmail.com狛江郷土資料館(仮称)設立をめざす会。

